


鉄鋼事業部門

6,206 億円 (前年同期比 △6.8%)

- 鋼材販売数量：国内の自動車向けが堅調に推移も、輸出減少のため、前期比減
- 鋼材販売価格：円高や上半期までの主原料価格下落の影響により、前期を下回る
- 鍛造鋼品売上高：海外造船向け需要の減少などにより、前期比減
- チタン製品売上高：海水淡水化プラントや化学プラント向けなどの数量減により、前期比減
- 経常損益：前期比145億円悪化の295億円の損失




高張力鋼板(ハイテン)

溶接事業部門

822 億円 (前年同期比 △10.8%)

- 溶接材料販売数量：国内での建築工事の遅れやエネルギー向けの需要の低調な推移、海外での造船やエネルギー向けの需要低迷継続により、前期比減
- 溶接システム売上高：国内建築向けで自動化への投資が旺盛に推移し、前期比増
- 経常利益：前期比12億円減益の68億円

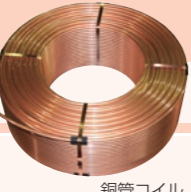


柱大組立溶接ロボットシステム

アルミ・銅事業部門

3,233 億円 (前年同期比 △6.4%)

- アルミ圧延品販売数量：飲料用缶材や自動車向けの需要が堅調に推移し、前期比増
- 銅圧延品販売数量：前期比増
[銅板条]自動車用端子向け需要が増加
[銅管]エアコン向け需要が堅調に推移
- 経常利益：地金価格下落に伴う在庫評価影響の悪化などにより、前期比31億円減益の120億円




銅管コイル

機械事業部門

1,507 億円 (前年同期比 △5.2%)

- 受注高：エネルギー関連業界向けの需要低迷や中国経済の減速等により、前期比8.7%減の1,282億円
- 当期末受注残高：1,278億円
- 経常利益：エネルギー関連業界向けの減少などにより、前期比8億円減益の58億円



HyAC mini-A

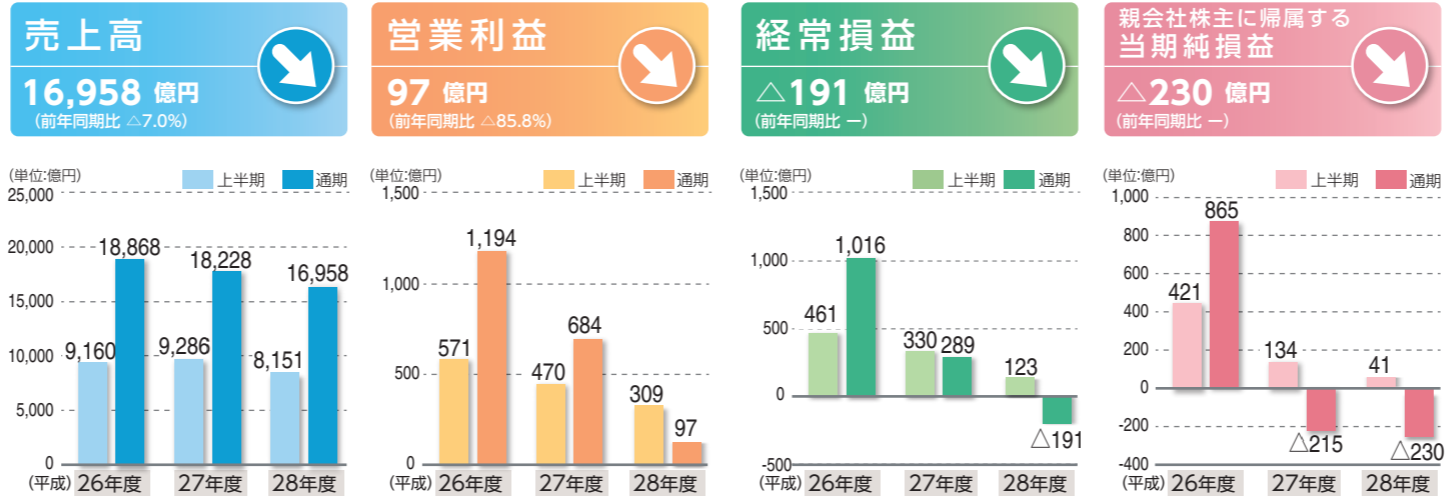
当期の概況

当社グループにおいては、鋼材の販売数量は、国内では自動車向けの需要が堅調に推移したものの、輸出が減少したことから前期を下回りました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材向けや自動車向けの需要が堅調に推移したことから前期を上回り、銅圧延品の販売数量は、自動車用端子向けの需要が増加したことから前期を上回りました。油圧ショベルの販売台数は、国内の需要が減少したことに加え、中国で販売条件を厳格化して営業活動に取り組んだことなどから前期を下回りました。加えて、円高や原料価格の下落の影響を受け、鋼材の販売価格やアルミ・銅製品の販売価格は下落しました。

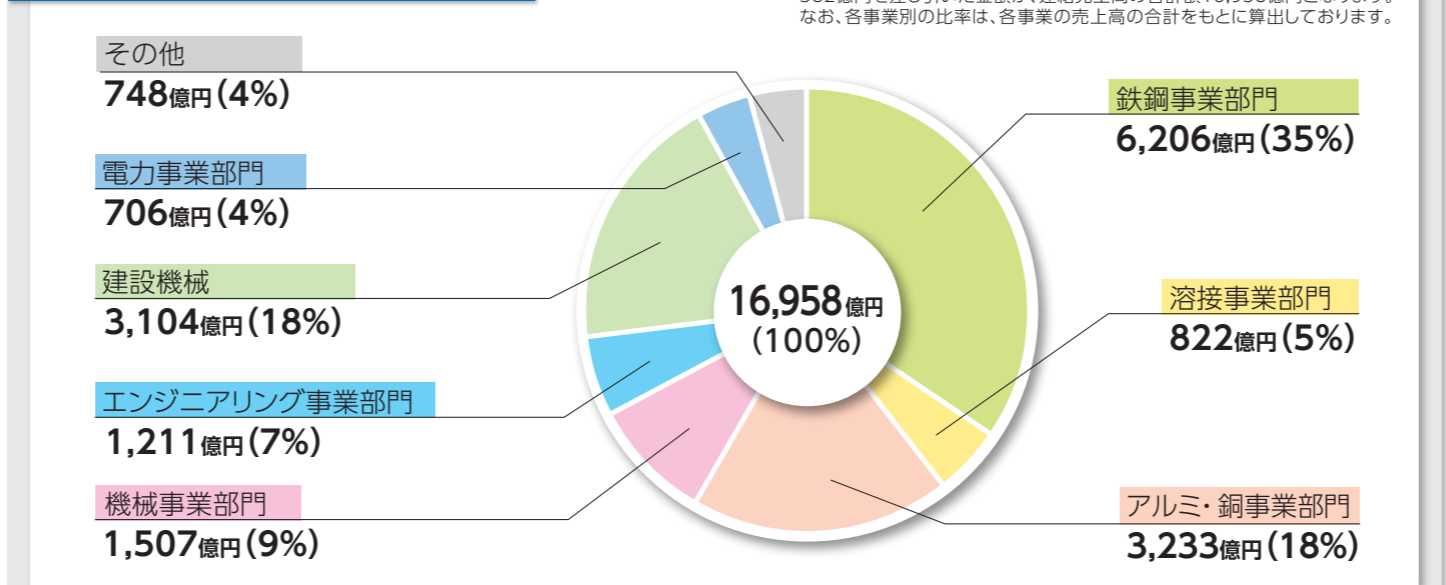
この結果、当期の売上高は、販売価格が下落したこ

との影響が大きく、前期比1,269億円減収の1兆6,958億円となりました。営業利益は、鉄鋼事業において高炉改修の一時費用を計上したことおよび建設機械の中国事業において滞留債権等に係る引当金を追加計上したことなどから、前期比586億円減益の97億円となり、経常損益は、前期比480億円減益の191億円の損失となりました。特別損益は、前期において計上した特別損失がなくなったことや当期において中国のホイールローダ事業に係る融資の引当金について戻入益を計上したことなどから、前期に比べ476億円改善の81億円の利益となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は、前期比14億円悪化の230億円となりました。

業績ハイライト(連結)




■事業別売上高(平成28年度)



エンジニアリング事業部門

1,211 億円 (前年同期比 △8.0%)

- 受注高：廃棄物処理関連事業における複数の大型案件受注などにより、前期比34.9%増の1,742億円
- 当期末受注残高：1,799億円
- 経常利益：前期比18億円減益の28億円



MIDREX®プラント(ロシア)

建設機械

3,104 億円 (前年同期比 △7.7%)

- 油圧ショベル販売台数：前期比減
[国内]レンタル向けを中心に需要減少
[海外]中国での販売条件を厳格化した営業活動により減少
- クローラークレーン販売台数：原油価格低迷によるエネルギー関連プロジェクトの減少などにより、東南アジアを中心に減少し前期比減
- 経常損益：販売台数減少や円高による採算悪化に加え、中国事業での滞留債権等に係る引当金の追加計上などにより、前期比194億円悪化の313億円の損失




ビル解体専用機
クローラークレーン

電力事業部門

706 億円 (前年同期比 △8.0%)

- 販売電力量：前期並
- 電力単価：円高や上半期までの発電用石炭価格下落により、前期を下回る
- 経常利益：燃料費変動の電力単価への反映の時期ずれなどにより、前期比43億円減益の130億円



真岡発電所完成イメージ図

その他

748 億円 (前年同期比 +0.5%)

- 神鋼不動産：[分譲事業]堅調に推移
[賃貸事業]堅調に推移
- コベルコ科研：[試験研究事業]自動車向け試験研究事業の受注減
- その他の事業全体の経常利益：前期比2億円増益の76億円



ジークレフ・ジオ神戸本山

(注) 表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。各事業名の下に数字は売上高を記載しています。